

福島県東白川郡樹木目録

序

本目録は農林省林業試験場農林技官草下正夫氏が数回に亘り八溝山を中心とする地帯の現地調査の結果調製されたものである。

当地方は御存知のように植物帯上温帯南限に位置し、自生する樹種もまた甚だ多種に及んでいるのであるが従来調査された目録もなく我々林業の研究にたずさわる者として少なからざる不便を感じこれが調査を計画しつつあつたが未だ完成せざる状態であつた。幸にも同氏が夏期に於ける検出を以つて当地方樹木目録が一応完成せられることを知るにおよび特に去る八月上旬調査を請うて当指導所のため取まとめて貰つたのが本稿である。

茲に本目録の由来を記すると共に草下氏の御好意に対し厚く感謝の意を表する次第である。

昭和 29 年 9 月

福島県林業指導所長 村 上 正

福島県東白川郡樹木目録

農林技官 草 下 正 夫
同 小 林 義 雄

緒 言

当郡は八溝、阿武隈両山系を含み、なかんづく八溝山は高さ海拔 1,022mに過ぎないが朽木、茨城、福島三県に跨る関東周辺山系の東端に屹立する名山で古くから植物区系上興味のある山として知られている。それは一つには太平洋沿岸に沿うて北上するクス、カシ帯要素と日光、那須山塊からの中部山岳要素と東北系ブナ帯要素の三者の干渉地点に当る分布上の要衝をなす地形的、地理的要件に由来するものと考えられる。しかし既に大部分は伐採されて造林地と化したが山頂附近福島県側には天然林が残存している寒地性の樹木に富み、ブナ、シラカンバ、ダケカンバ、オヒヨウレ、サワグルミ、ミネカエデ等が見られる外、ネズコ（クロベ）、ヒナウチワカエデ、カジカエデ、オホウラジロノキ等、日光山地系の樹種に富みわずかに天然林の風貌をうかがい知ることが出来るのであり、それは当地方を通じて唯一のものとなつた。これが保存は植物学上並に観光上是非共必要なことであろう。又阿武隈山系方面では殆んど天然林らしいものを見ることが出来ないが八溝山系に較べて暖地性の種類を有し、カラスザンショウ、シラキ、アカメガシワ、等がみられる。本調査に当り主に調査した箇所は東白川郡のうち棚倉町、塙町、高野、近津、高城、石井、豊里、笹原、の各村であり、東白川郡北部は未調査の箇所が多く、且つ調査回数も少い為本調査に漏れた種類もあるかと思はれるが、それは諸賢の御教示と今後の調査に俟つこととして一応今迄の結果を取

纏め予報とする。

本調査に当つては、棚倉管林署の大塚武行氏、島俊男氏、森西繁正氏と三代の署長、並びに福島県林業指導所長村上正氏の多大の好意的御援助を賜り、又署所員各位特に棚倉署林経営課長、指導所の中元技師及び渡部助手の終始熱心な御協力に負う所が多い。ここに厚く感謝の意を表する次第である。

尙調査地域の概要を記すれば次の通りである。本地方は福島県南端にあつて東経140°15' ~ 140°40', 北緯36°50' ~ 37°10'に跨りその面積は62,500haである。それを構成する諸山系はほぼ南北に並走している。即ち東に阿武隈山系、西に八溝山系が南北に走り、前者にあつては各連山の高低差少なく概して平坦な高原状の地形を示し、平均海拔高は400~500mである。又八溝山系は著しく開折された地塊であり、主脈の平均海拔高は600~700mの高さを有している。八溝周辺は殊に深い縦谷を作り急斜地が多いが、北部に続いて第三系の発達している地方では緩い丘陵状の地形を呈している。

尙主たる河川は阿武隈、八溝両山系の間を流れる久慈川で八溝山北部に源を発し、川上、渡瀬、八溝の各支川を合流して南下する。地質は八溝山系を構成する水成岩層は従来小仏古成層と言はれたが今日ではこの水成岩はむしろ中成層と考えた方が合理的であろうと言はれている。主に砂岩、粘板岩より成る。走行は西方に傾いている。八溝山系の周辺は低い丘陵や段丘が拵がりこの地域は第三系が発達している。

阿武隈山系の基岩は花崗岩類、片麻岩類、結晶片岩類等である。久慈川破碎体は両方の岩石を含んでおり極めて複雑である。

本地方は温帯南部と言はれているが今当所の気象観測値を示すと第一表の通りである。

第一表 気象観測表
平均気温 °C

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
昭和27年	3.1	1.7	6.6	12.7	18.8	21.8	25.0	27.2	22.2	16.5	17.0	3.7	14.3
" 28年	2.2	1.3	6.5	11.1	16.8	19.5	23.3	22.9	20.2	14.7	7.8	3.8	12.5

降 水 量 mm

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
昭和27年	28.1	51.5	60.0	129.1	76.6	215.2	277.5	128.6	117.6	152.2	110.3	8.3	1,355.3
" 28年	42.6	36.9	97.0	76.8	132.5	182.1	195.1	223.9	253.4	131.6	13.1	52.9	1,447.9

備考 観測所位置 東経140°24'18" 北緯36°57'6" 海拔217m
観 測 時 27年午前10時、28年午前9時

第一表によると本地方の平地では大体年平均気温 13°C 、年較差 12°C 、年降水量 1400mm 前後であり、成長期間と考えられる4~10月の平均気温と降水量は、27年 20.6°C 、 1097mm 、28年 18.4°C 1196mm となつている。また、ラング係数は、27年約 94.8 (76.1)、28年 115.8 (93.1) となつている。(括弧中の数値は11~3月を除いたものである)。しかし山岳地では、気温の低下及び降水量の増加が容易に想像され、したがつてラング係数はより大きな数値となるものと考えられる。また、積雪も山岳地では可成の量に達するものと推定される。風は冬期間は北西風が強い。

土壌は褐色森林土であつて、八溝山系は礫に富む亜堆質壤土で、理化学的性質共に良好であるが、阿武隈山系は層位も浅く、定積的な乾性土壌が多い。また、久慈川破砕体と言はれる地帯は崩積性の土壌が多く一般によい土壌形態を示している。

1 分布上特記すべき植物

1 ネズコ (クロベ) *Thuja Standishii* Carr.

ネズコ属はツガ属、トガサワラ属と共に東亜と北米のみに分布する特異な分布を示す属で、ネズコは日本に産する唯一のネズコ属植物である。日本に於ける分布範囲は比較的広く南は四国石槌山、紀伊半島大台ヶ原を経て、中部山岳、奥日光一円に多産し、奥羽山脈に沿つて北上し、青森県の秋田県境寄りに終るが、奥羽地方の太平洋岸には比較的稀で僅かに岩手県上閉伊郡及気仙郡及阿武隈丘陵の三春附近に僅かに見られるのみで、八溝山も亦、本種の太平洋側分布限界線の一拠点となつていて、八溝山—赤城山—丹沢山を結ぶ線から東南方の関東一円にはクロベの分布を見ないのである。郡内には小範囲ではあるが見事な天然生木が多数見られる。

2 ハリモミ *Picea polita* Carr

本種は日本に産するトウヒ属植物の中では最も分布範囲の広い樹種で九州高隈山から四国、近畿を経て中部山岳下部に最も多く、関東周辺の山地に至り、福島県下を北限とする。

福島県下では僅かに医王寺山、帝釈山及八溝山の三ヶ所が知られているのみで、八溝山は医王寺山と共に分布の東北限に当る。本種は八溝山では極めて稀にしか見ることが出来ない。

3 ブナ *Fagus crenata* Blume

小泉源一博士は九州から四国を経て紀伊半島、伊豆天城山、等にある葉や殻斗が小型のブナをコハブナとして区別し、学名に *Fagus undulata* Buerger を充当している。これは未だ学説というべきもので賛意を示さぬ学者の方が多い位であるが、最近に至つて、区系地理上にも、生態地理上からも日本海系要素と太平洋系要素とにわけて考える見方が盛んになると共に、ブナについてもスギの二型と同じ様に所謂ブナ *Fagus crenata* は日本海系のもので、太平洋系のブナは即ちコハブナであるとし、このものは太平洋岸に沿つて岩手県の海岸に及んでいるとする人もある。八溝山のものは筆者の見るところでは本来のブナに相違なく、上記の説によれば日本海系のブナが太平洋岸に近く進出した一例として興味がある。筆者はコハブナはブナの分布の南限気候下に現れた一つの環境適応現象ではないかとさえ考えて居り、別種とすることには賛成ではないが、これ等の問題を解決

する上にも八溝山のブナは大きな意義を持つ。

4 ダケカンバ *Betula Ermani* Cham.

中部山岳、日光、那須の亜高山帯にはシラカンバより高位置にあり、高山としての風貌を与えている樹種であるが、八溝山の神社附近に僅か見られることは特記すべきことと思う。シラカンバは八溝山系及阿武隈丘陵には共に点生する。

5 カザグルマ *Clematis patens* Morr.et Decaisne

岩代以南、四国、九州に産し、分布としては北限ではないが、当郡にも所々に自生と思はれるものが見られる。花が美しいので栽培され多数の品種があるが、これに似たテツセンとは萼片（花卉の様に見えるのは実は萼片である）が普通8個であるのにテツセンでは普通6個である。又葉の出方も一回三出であるがテツセンは二回三出であるので区別し得る。

6 カラスザンショウ *Fagara ailanthoides* Engler

本州羽後以南四国、九州に分布しているが関東では主に海岸附近に多く産する樹種であり、刺の多い落葉喬木である。暖地植物の北上したものと云える。

7 ニッコウザサ *Sasa nikkoensis* Makino

本種は牧野富太郎博士によつて見出され、1930年植物研究雑誌6巻P.23に新種として発表されたもので、天然林保存区左岸斑界尾根の一部にミヤコザサに介在して生育し、1954年同地調査の際はミヤコザサと共によく開花していて良好な標本が得られた。

ミヤコザサに似ているが新桿では桿及葉鞘にピロード状の毛を密に生ずるが前生の桿及葉鞘は殆んど無毛、葉は少しく細長く、且葉質薄く葉身の基部に円味が乏しい。葉の裏面に軟毛を多く生じ冬期葉縁が白く隅をとることはミヤコザサと同様である。本品は形態の点も又冬期旧葉が著しく枯凋し殆んど落葉する点からも、北海道日高地方に多いエゾミヤコザサ *Sasa apoiensis* Nakai (コザサ *Sasa kozasa* Nakai) に極めて似ているが、地区的に見てニッコウザサと同定した。しかし現地に於ける生育の状から見るとミヤコザサの一変型と思われる節があるが、これ等の問題については今後の研究に俟つ。

2 福島県東白川郡の樹木目録

1 東白川郡内に野生する木本植物55科 209種類を記載した。これを植物分類学上の区分により配列すれば次の如くである。

	科	属	種	類
後生花被植物亜綱	10	23		40
古世花被植物亜綱	40	81		156
双子葉植物綱	50	104		196

	科	属	種 類
単子葉植物綱	2	3	6
被子植生亜門	52	107	202
裸子植物亜門	3	6	7
種子植物門	55	113	209

- 2 木目録の科名は植物学雑誌65巻P.200「植物科名に関する標準和名表」によつた。
- 3 学名は理学博士大井次三郎氏の「日本植物誌」によつた。ただし一部他の学者の説によつたものもある。
- 4 尙サイカチ、シラカン等野生品か、栽培品か判然としないものは除いた。

Spermatophyta 種子植物門

Gymnospermae 裸子植物亜門

Taxaceae イチイ科

Cephalotaxus drupacea Sieb. et Zucc. イ ス ガ ヤ

Torreya Sieb. et Zucc. カ ヤ

Pinaccae マツ科

Abies firma Sieb. et Zucc. モ ミ

Pinus densiflora Sieb. et Zucc. ア カ マ ツ

P. pentaphylla Mayr ヒメコマツ(キタゴヨウマツ)

Cuyressaceae ヒノキ科

Thuja Standishii (Gordon) Carr. ク ロ ベ(ネズコ)

Juniperus rigida Sied. et Zucc. ネ ズ

Angiospermae 被子植物亜門

Dicotyledoneae 双子葉植物綱

Archichlamydeae 古生花被植物亜綱

Salicaceae ヤナギ科

Populus Maximowiczii A. Henry ド ロ ノ キ

P. Sieboldi Miq. ヤ マ ナ ラ シ

Salix Bakko Kimura バ ツ コ ヤ ナ ギ

S. gracilistyla Miq. ネ コ ヤ ナ ギ

<i>S. integra</i> Thunb.	イヌコリヤナギ
<i>S. sachalinsis</i> Fr. Schm.	オノエヤナギ
<i>S. serissaefolia</i> Kimura	コゴメヤナギ
<i>S. subfragilis</i> Anders.	クチャヤナギ

Juglandaceae クルミ科

<i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.	オニグルミ
<i>Pterocarya rhoifolia</i> Sieb. et Zucc.	サワグルミ

Betulaceae カバノキ科

<i>Alnus tinctoria</i> Sargent	ヤマハンノキ
<i>A. firma</i> Sieb. et Zucc. var. <i>hirtella</i> Franch. et Sav.	ミヤマヤシヤブシ
<i>Betula Ermani</i> Cham.	ダケカンバ
<i>B. grossa</i> Sieb. et Zucc.	ヨグソミネバリ
<i>B. platyphylla</i> Sukatchev var. <i>japonica</i> (Miq) Hara	シラカンバ
<i>B. Schmidtii</i> Regee.	オノオレカンバ
<i>Carpinus cordata</i> Blume	サワシバ
<i>C. japonica</i> Blume	クマシデ
<i>C. laxiflora</i> (Sieb. et Zucc) Blume	アカシデ
<i>C. Tschonoskii</i> Maxim.	イヌシデ
<i>Corylus Sieboldiana</i> Blume	ツノハシバミ
<i>Ostrya japonica</i> Sarg.	アサダ

Fagaceae ブナ科

<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
<i>Fagus crenata</i> Blume.	ブナ
<i>F. japonica</i> Maxim.	イヌブナ
<i>Quercus acutissima</i> Carruthers	クヌギ
<i>Q. mongolica</i> Fischer var. <i>grosseserrata</i> (Blume) Rehd et Wils.	ミズナラ
<i>Q. serrata</i> Thunb.	コナラ
<i>Q. dentata</i> Thunb.	カシハ

Ulmaceae ウレ科

<i>Ulmus Daviana</i> Planch. var. <i>japonica</i> (Rehd.) Nakai	ハルウレ
<i>U. laciniata</i> (Trautv) Mayr	オヒヨウウレ
<i>U. laciniata</i> (Trautv) Mayr var. <i>nikkoensis</i> Rehder	ニッコウアツシ
<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	ケヤキ

<i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> Nakai	エ	ノ	キ
Moraceae	ク	ワ	科
<i>Broussonetia Kazinoki</i> Sieb.	コ	ウ	ソ
<i>Morus bombycis</i> Koidz.	ヤ	マ	ヅ
Santalaceae	ピ	ヤ	ク
<i>Buckleya lanceolata</i> (Sieb. et Zucc.) Miq.	ツ	ク	バ
Loranthaceae	ヤ	ド	リ
<i>Viscum album</i> L.	ヤ	ド	リ
Eupteleaceae	フ	サ	ザ
<i>Euptelea polyandra</i> Sieb. et Zucc.	フ	サ	ザ
Trochodendraceae	ヤ	マ	グ
<i>Trochodendron aralioides</i> Sieb. et Zucc.	ナ	ガ	バ
<i>forma longifolium</i> Ohwi	ノ	ヤ	マ
Cercidiphyllaceae	カ	ツ	ラ
<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Sieb. et Zucc.	カ	ツ	ラ
Ranunculaceae	キン	ボ	ウ
<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>biternata</i> Makino	コ	ボ	タ
<i>C. japonica</i> Thunb.	ハ	ン	シ
<i>C. patens</i> Morr. et Decaisne	カ	ザ	グ
Lardizabalaceae	ア	ケ	ビ
<i>Akebia quinata</i> (Thunb.) Decne	ア	ケ	ビ
<i>A. trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	ミ	ツ	バ
Berberidaceae	メ	ギ	科
<i>Berberis Thunbergii</i> DC.	メ	ギ	
Menispermaceae	ツ	ヅ	ラ
<i>Cocculus trilobus</i> (Thunb) DC.	ア	オ	ツ
Magnoliaceae	モ	ク	レ
<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	ホ	ウ	ノ
<i>M. Kobus</i> DC.	コ	ブ	シ
<i>Schisandra nigra</i> Maxim.	マ	ツ	ブ
Lauraceae	ク	ス	ノ
<i>Lindera obtusiloba</i> Blume	ダ	ン	コ
<i>L. umbellata</i> Thunb.	ク	ロ	モ

Parabenzoin Praecox (Sieb. et Zucc) Nakai	ア プ ラ チ ャ ン
Saxifragaceae ユキノシタ科	
Deutzia gracilis Sieb. et Zucc.	ヒ メ ウ ツ ギ
D. scabra Thunb.	ウ ツ ギ
Hydrangea hirta (Thunb.) Sieb.	コ ア ジ サ イ
H. involucrata Sieb.	タ マ ア ジ サ イ
H. macrophylla (Thunb.) Seringe var. acuminata (Sieb. et Zucc) Makino.	サ ワ ア ジ サ イ
H. paniculata Sieb.	ノ リ ウ ツ ギ
H. petiolaris Sieb. et Zucc.	ゴ ト ウ ズ ル
Schizophragma hydrangeoides Sieb. et Zucc.	イ ワ ガ ラ ミ
Hamamelidaceae マンサク科	
Hamamelis japonica Sieb. et Zucc.	マ ン サ ク
Rosaceae バラ科	
Amelanshier asiatica (Sieb. et Zucc.) Ende.	ザ イ フ リ ボ ク
Kerria japonica (Thunb) D.C.	ヤ マ ブ キ
Malus Sieboldii (Regel) Rehder	ズ ミ
M. Tschonoskii (Maxim.) C. K. Schn.	オ オ ウ ラ ジ ロ ノ キ
Pourthiaea villosa (Thunb) Decne. var. laevis (Thunb.) Stapf	カ マ ツ カ
Prunus apetala (Sieb. et Zucc.) Fr. et Sav.	チ ヨ ウ ジ ザ ク ラ
P. Buergeriana Miq	イ ヌ ザ ク ラ
P. Grayana Maxim.	ウ ワ ミ ツ ザ ク ラ
P. Jamasakura Sieb.	ヤ マ ザ ク ラ
P. subhirtella Miq. var. Pendula (Maxim) Tanaka form. ascendens (Makino) Ohwi	エ ド ヒ ガ ン
Rosa multi flora Thunb.	ノ イ バ ラ
R. Wichuraiana Crep.	テ リ ハ ノ イ バ ラ
Rubus crataegifolius Bunge	ク マ イ チ ゴ
R. microphyllus L. fil	ニ ガ イ チ ゴ
Sorbus commixta Hedl	ナンケンナナカマド
R. Palmatus Thunb. var. coptophyllus (A. Gray) O. Kuntze	モ ミ ジ イ チ ゴ
R. parvifolius L.	ナ ワ シ ロ イ チ ゴ
R. phoenicolasius Maxim.	エ ビ ガ ラ イ チ ゴ

Sorbus alnifolia (Sieb. et Zucc.) C. Koch	アズキナシ
S. japonica (Decne) Hedl.	ウラジロノキ
Spiraea betulifolia Pall.	マルバシモツケ
Stephanander incisa (Thunb.) Zabel.	コゴメウツギ

Leguminosae マメ科

Albizzia Julibrissin Durazz	ネムノキ
Lespedza bicolor Turcz. form. acutifolia Matsum.	ヤマハギ
L. cyrtobotrya Miq.	マルバハギ
L. nikkoensis Nakai.	ニツコウシラハギ
Maackia amurensis Rupr. et Maxim var. Buergeri (Maxim.) C. K. Schneid.	イヌエンジュ
Pueraria lobata (Willd.) Ohwi	クズ
Wisteria floribunda (Willd.) D. C.	フジ

Rutaceae ミカン科

Fagara ailanthoides Engl.	カラスザンショウ
F. schinifolia Engl.	イヌザンショウ
Zanthoxylum piperitum (L.) D. C.	サンショウ
Orixa japonica Thunb.	コクサギ
Phellodendron amurense Rupr.	キハダ

Simarubaceae ニガキ科

Picrasma quassioides (D. Don.) Berm.	ニガキ
--------------------------------------	-----

Euphoibiaceae トウダイグサ科

Mallotus japonica (Thunb.) Muell. Arg.	アカメガシワ
Sapium japonicum (Sieb. et Zucc.) Pax. et Hoffm.	シラギ

Anacardiaceae ウルシ科

Rhus ambigua Lavallee	ツタウルシ
R. chinensis Miller	ヌルデ
R. trichocarpa Miq.	ヤマウルシ

Aquifoliaceae モチノキ科

Ilex serata Thunb.	ウメモドキ
I. macropoda Miq.	アオハダ
I. geniculata Maxim.	フウリンウメモドキ

Celastraceae ニシキギ科

<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>Papillosus</i> (Nakai) Ohwi.	オニツルウメモドキ
<i>Euonymus alatus</i> Sieb.	ニシキギ
<i>E. alatus</i> Sieb. form. <i>subtriflorus</i> (Blume) Ohwi	コマユミ
<i>E. Fortunei</i> (Turcz.) Handa Mazz. var. <i>radicans</i> (Sieb.) Rehder	ツルマサキ
<i>E. oxyphyllus</i> Miq.	ツリバナ
<i>E. Sieboldionus</i> Blume	マユミ

Staphyleaceae ミツバウツギ科

<i>Staphylea Bumalda</i> (Thunb.) D. C.	ミツバウツギ
---	--------

Aceraceae カエデ科

<i>Acer amoenum</i> Carr.	オオモミジ
<i>A. carpinifolium</i> Sieb. et Zucc.	チドリノキ
<i>A. cissifolium</i> C. Koch	ミツデカエデ
<i>A. crataegifolium</i> Sieb. et Zucc.	ウリカエデ
<i>A. diabolicum</i> Blume	カジカエデ
<i>A. japonicum</i> Thunb.	ハウチツカエデ
<i>A. distylum</i> Sieb. et Zucc.	ヒトツバカエデ
<i>A. micranthum</i> Sieb. et Zucc.	コミネカエデ
<i>A. Mono Maxim.</i> var. <i>disectum</i> Honda	エンコウカエデ
<i>A. Mono Maxim.</i> var. <i>nikkoense</i> Honda	ウラゲエンコウカエデ
<i>A. nikoense</i> Maxim.	メグスリノキ
<i>A. ornatum</i> carr. var. <i>Matsumurae</i> Koibz.	ヤマモミヂ
<i>A. rufinerve</i> Sieb. et Zucc.	ウリハダカエデ
<i>A. Sieboldianum</i> miq.	コハウチワカエデ
<i>A. tenuifolium</i> (Koidz.) Koidz.	ヒナウチワカエデ

Hippocastanaceae トチノキ科

<i>Aesculus turbinata</i> Blume	トチノキ
---------------------------------	------

Sabiaceae アワブキ科

<i>Meliosma myriantha</i> Sieb. et Zucc.	アワブキ
--	------

Rhamnaceae クロウメモドキ科

<i>Berchemia racemosa</i> Sieb. et Zucc.	クマヤナギ
<i>Hovenia dulcis</i> Thunb. var. <i>globra</i> Makino	ケンボナシ
<i>Rhamnus japonica</i> Maxim.	クロウメモドキ

Vitaceae ブ ド ウ 科	
Vitis amurensis Rupr. var. Coignetii Nakai	ヤ マ ブ ド ウ
Ampelopsis brevipedunculata (Maxim.) Trautv. var.	
Maximowiczii (Regel) Rehder	ノ ブ ド ウ
Vitis flexuosa Thunb.	サ シ カ ク ズ ル
V. Thunbergii Sieb. et Zucc.	エ ビ ズ ル
Actinidiaceae マ タ タ ビ 科	
Actinidia arguta (Sieb. et Zucc.) Planch.	サ ル ナ シ
A. polygama (Sieb. et Zucc.) Maxim.	マ タ タ ビ
Theaceae ツ バ キ 科	
Camellia japonica L. var. japonica	ヤ ブ ツ バ キ
Stewartia pseudo-camellia Maxim.	ナ ツ ツ バ キ
Stachyuraceae キ ブ シ 科	
Stachyurus praecox Sieb. et Zucc.	キ ブ シ
Elaeagnaceae グ ミ 科	
Elaeagnus glabra Thunb.	ツ ル グ ミ
E. longipes A. Gray.	ナ ツ グ ミ
E. crispa Thunb.	ア キ グ ミ
Alangiaceae ウ リ ノ キ 科	
Alangium platanifolium (Sieb. et Zucc.) Harms var.	
macrophyllum (Sieb. et Zucc.) Wangerin	ウ リ ノ キ
Araliaceae ウ コ ギ 科	
Acanthopanax sciadophylloides Fr. et Sav.	コ シ ア ブ ラ
A. spinosus (L. fil) miq.	ヤ マ ウ コ ギ
Aralia elata (miq) Seemann	タ ラ ノ キ
Evodiopanax innovans (Sieb. et Zucc.) Nakai	イ モ ノ キ
Hedera rhombea (Miq.) Bean	キ ズ タ
Kalopanax septemlobus (Thunb.) Koidz.	ハ リ ギ リ
Cornaceae ミ ズ キ 科	
Cornus brachypoda C. A. Mey.	ク マ ノ ミ ズ キ
C. controversa Hemsley	ミ ズ キ
C. kousa Buerger	ヤ マ ボ ウ シ

<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F. G. Dietr.	ハ ナ イ カ ダ
Metachlamydeae 後生花被植物亜綱	
Ericaceae ツ ツ ジ 科	
<i>Azaleastrum semibarbatum</i> Makino	バ イ カ ツ ツ ジ
<i>Lyonia Neziki</i> Nakai et Hara	ネ ジ キ
<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) Nichols	サ ラ サ ド ウ ダ ン
<i>E. subsessilis</i> (Miq.) Makino	ア ブ ラ ツ ツ ジ
<i>Rhododendron japonica</i> Suringar	レ ン ゲ ツ ツ ジ
<i>R. japonicum</i> Suringar. form. <i>glaucophyllum</i> (Nakai)	ウ ラ ジ ロ レ ン ゲ ツ ツ ジ
<i>R. Kaempferi</i> Planch.	ヤ マ ツ ツ ジ
<i>R. quinquefolium</i> Bisset. et Moore	ゴ ヨ ウ ツ ツ ジ
<i>R. Wadanum</i> Makino	ト ウ ゴ ク ツ ミ バ ツ ツ ジ
<i>Tripetaleia paniculata</i> Sieb. et Zucc. var. <i>latifolia</i> Maxim.	ホ ツ ツ ジ
<i>Vaccinium hirtum</i> Thunb. form. <i>lasiocarpum</i> (Kaidz.) Ohwi	ケ ウ ス ノ キ
<i>V. Oldhami</i> Miq.	ナ ツ ハ ゼ
<i>V. Smallii</i> A. Grey	オ オ バ ス ノ キ
<i>Sorbus gracilis</i> K. Koch.	ア ツ マ シ ヤ ク ナ ゲ
<i>Pieris japonica</i> D. Don.	ア セ ビ
Clethraceae リ ヨ ウ ブ 科	
<i>Clethra barbinervis</i> Sieb. et Zucc.	リ ヨ ウ ブ
Symplocaceae ハ イ ノ キ 科	
<i>Palura chinensis</i> Koidz. form. <i>Pilosa</i> Hara	サ ワ フ タ ギ
Styracaceae エ ゴ ノ キ 科	
<i>Pterostyrax hispida</i> Sieb. et Zucc.	オ オ バ ア サ ガ ラ
<i>Styrax japonica</i> Sieb. et Zucc.	エ ゴ ノ キ
<i>S. Obassia</i> Sieb. et Zucc.	ハ ク ウ ン ボ ク
Oleaceae モ ク セ イ 科	
<i>Fraxinus Sieboldiana</i> Blume var. <i>serrata</i> Nakai	コ バ ノ ト ネ リ コ
<i>Ligustrum obtusifolium</i> Sieb. et Zucc.	イ ボ タ
Loganiaceae フ ジ ウ ツ ギ 科	
<i>Buddleja japonica</i> Hemsl.	フ ジ ウ ツ ギ
Verbenaceae ク マ ツ ヅ ラ 科	
<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	ム ラ サ キ シ キ ブ

<i>C. mollis</i> Sieb. et Zucc.	ヤブムラサキシキブ
<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	ク サ ギ
Rubiaceae アカネ科	
<i>Paederia scandens</i> Merrill var. <i>Mairei</i> Hara	ヘクソカズラ
Caprifoliaceae スイカズラ科	
<i>Abelia spathulata</i> Sieb. et Zucc.	ツクバネウツギ
<i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq.	ウグイスカグラ
<i>L. gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq. form.	
<i>adenophora</i> (Nakai) Hara	オクノウグイスカグラ
<i>L. tenuipes</i> Nakai var. <i>tenuipes</i>	ミヤマウグイスカグラ
<i>Sambucus Sieboldiana</i> Blume	ニワトコ
<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. form. <i>Pilasulum</i> Nakai	ガマズミ
<i>V. furcatum</i> Blume	オオカメノキ
<i>V. phlebotrichum</i> Sieb. et Zucc.	オトコヨウゾメ
<i>V. plicatum</i> Thunb. form. <i>tomentosum</i> Rehder	ヤブデマリ
<i>V. Wrightii</i> Miq. var. <i>Wrightii</i>	ミヤマガマズミ
<i>V. Wrightii</i> Miq. var. <i>minus</i> Nakai	コミヤマガマズミ
<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai	ニシキウツギ
Compositae キク科	
<i>Pertya glabrescens</i> Schultz-Bipont.	ナガバノコオヤボウキ
Monocotyledoneae 単子葉植物綱	
Gramineae イネ科	
<i>Arundinaria Chino</i> (Fr. et Sav.) Makino	アズマネザサ
<i>Sasa nikoensis</i> Makino	ニッコウザサ
<i>S. villosa</i> Makino et Nakai	ケミヤコザサ
<i>S. purpurascens</i> (Hack.) Ohwi	スズタケ
<i>S. ramosa</i> Makino	アズマネザサ
Liliaceae ユリ科	
<i>Smilax China</i> L.	サルトリイバラ